

I 今までの  
C コンセプト（概念）を  
T とつ払え！！

～居宅ケアマネジャーの挑戦～

土肥ホーム 土肥戸田居宅介護支援センター  
ケアマネジャー 吉川 友史

# 発表内容

- ケアマネジャーのやりがいと葛藤（課題）

---
- ICTを導入・活用した業務革新（取り組みと結果）

---
- まとめ

# ケアマネジャーの仕事の魅力とやりがい

適切なケアマネジメントの実施 ⇒ プラン作成

その結果として

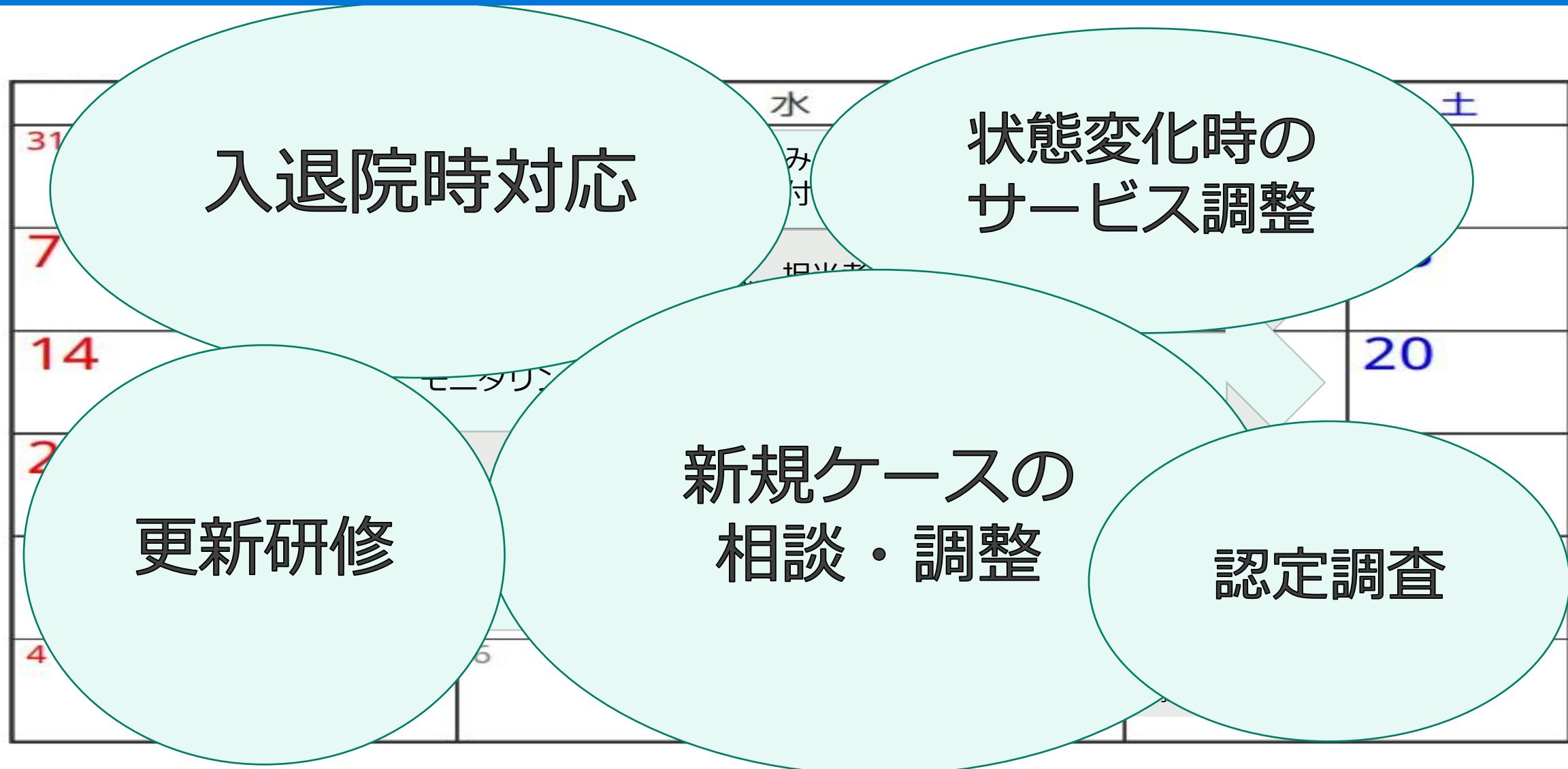
ご利用者の健康状態が良くなった時

望む暮らしの実現ができた時

ご利用者・ご家族から感謝を伝えられた時



# ケアマネジャー一月間スケジュール



ご利用者の

動けば動

情

書

記録

気持ちに余裕がなく、  
ご利用者ご家族と  
向き合う時間が  
十分に取れない・・・

# ケアマネジヤー 1人1台のスマホ所持





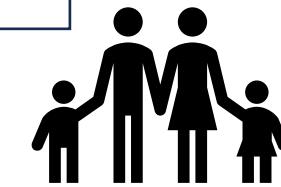
# スマホを活用することで

- ・ 事務所をつなぐ直接電話でのやり取りができる
- ・ 緊急でなければラインワークスに送ればお互いの時間を奪わなくて済む
- ・ 写真・動画でのやり取りで確認が可能



オープを作ることで  
できる

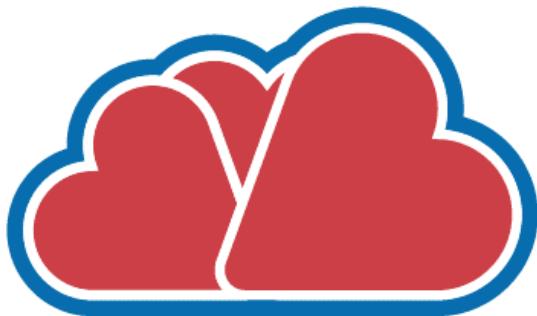
【家族】  
仕事をしていても自分のタイミングで発信・確認ができるので助かっています



電話連絡、記録入力作業・情報共有等の時間が減少

負担感やストレスも減少

# 介護ソフト・『ケアカルテ』導入



CARE KARTE



# ケアカルテを導入したこと



電子同意システムを活用することでプラン・利用票等の書類（事業所控え）を印刷作業が減った

土肥ホーム内ではケアカルテ上のデータ連携を実施することでペーパーレス化に成功した

各事業所にFAXや手渡しではなくメールでの書類送付のきっかけになった

# BEFORE



# AFTER



# 電子同意システム導入前



書類を用意して訪問準備

# 電子同意システム導入後の流れ



ご利用ご利用者分の予定を渡して完了認を行う

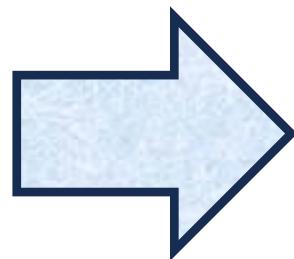
# 電子同意システム導入後



# BEFORE



# AFTER



# 紙の利用量の変化

毎プラン作成時  
約20枚

毎月ご利用者様  
利用票 2~3枚

毎月の  
レセプト明細書  
給付管理表



毎月  
事業所への提供票  
1~4枚

**今年度**  
**『ケースファイルのデータ化』**  
**挑戦中**

# 業務割合の比率変化

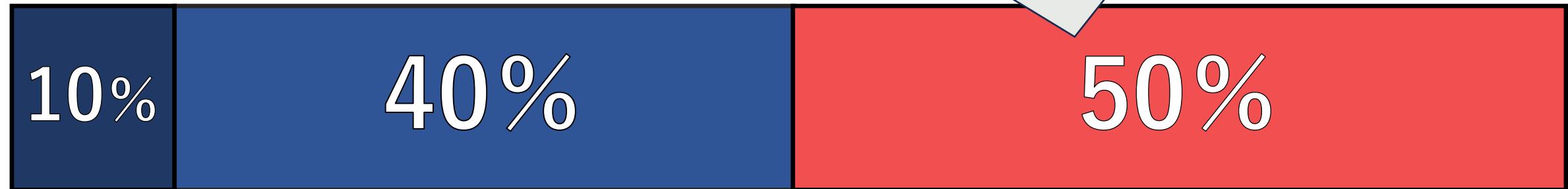
- 電話連絡・対応
- 書類作成・配布・綴じる作業
- 相談業務（寄り添い関わる時間）

ICT機器導入前の業務割合

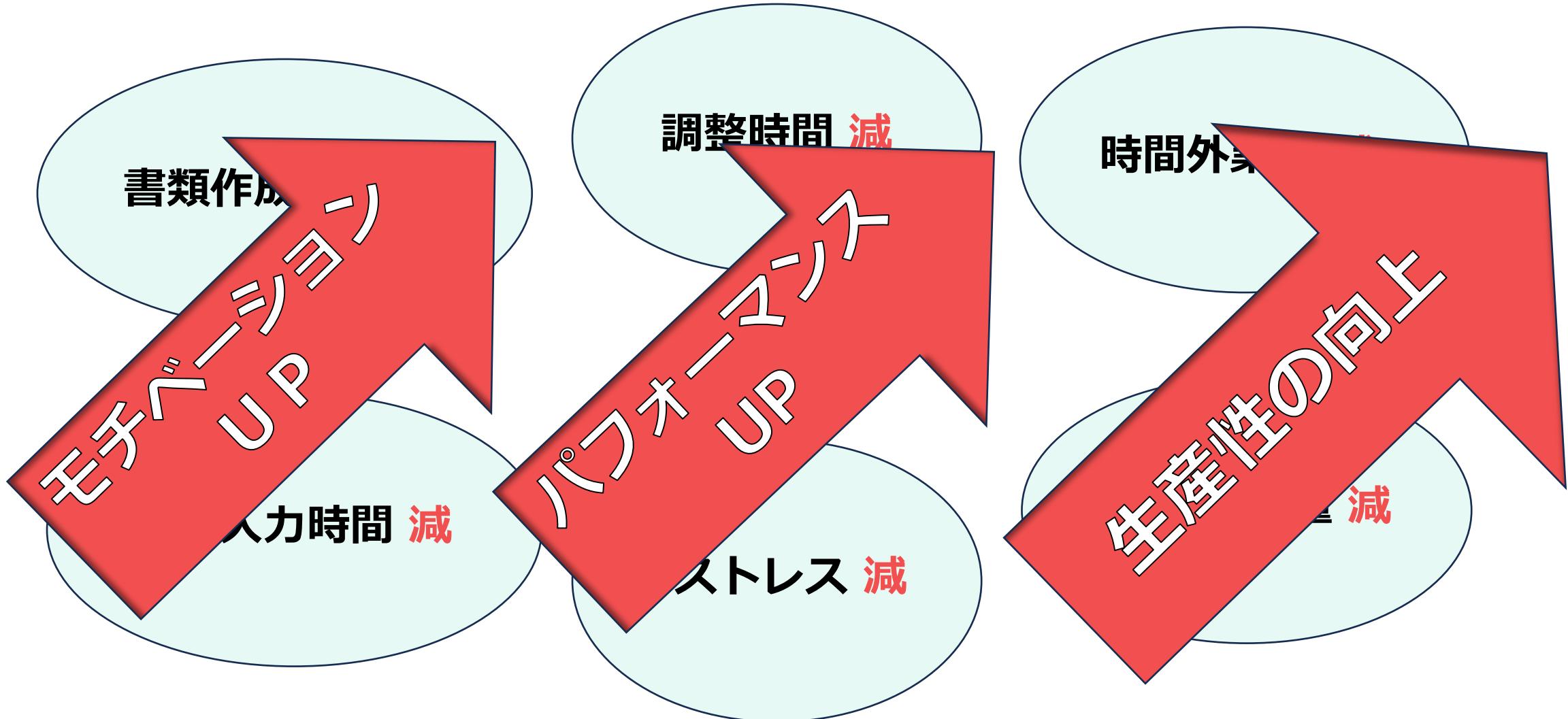


ご利用者・ご家族と  
関わる時間が増えた

ICT機器導入後の業務割合（スマホ・ケアガ

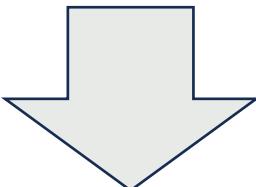


# ICT機器を導入し、業務革新したことでの効果



# まとめ

- ・ご利用者・ご家族に寄り添う時間が増えた。
- ・今まで十分に聴き取ることができなかつた  
「思い」を知ることに繋がった。 『ケアの質の向上』
- ・この体験と経験を他事業所へ広めることでより良い連携に繋がり、  
お互いの生産性が向上するように働きかけていきたい。



**ケアマネジャーとしての質の向上、  
やりがいをより感じられるように挑戦をしていきたい。**

ご清聴ありがとうございました



